

串間市第8期介護保険事業計画策定に係る  
介護人材実態調査報告書

令和2年11月  
串間市



# 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的.....	1
2 調査時期.....	1
3 調査対象.....	1
4 調査方法.....	1
5 調査票配布・回収状況.....	1
6 調査結果利用上の注意.....	1
<b>第2章 調査結果概要</b> .....	<b>2</b>
1 提供サービス種別.....	2
2 介護職員等の総数.....	2
3 介護職員等の内訳.....	2
4 介護職員等の過不足の状況.....	2
5 職員の採用・離職の状況.....	2
<b>第3章 各設問集計結果</b> .....	<b>3</b>
1 提供サービス種別.....	3
2 介護職員等の人数.....	4
（1）介護職員等の総数.....	4
（2）介護職員等の内訳.....	6
（3）介護職員等の過不足の状況.....	17
3 採用者・離職者.....	40
（1）採用者・離職者数.....	40
（2）離職者の内訳.....	42
<b>調査票</b> .....	<b>48</b>



## 第1章 調査の概要

### 1 調査の目的

串間市における介護人材の現状を把握し、「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の見直しにおける基礎資料として活用することを目的とする。

### 2 調査時期

令和2年10月

### 3 調査対象

介護サービス（福祉用具販売等を除く）を提供する串間市内の全ての事業所

### 4 調査方法

郵送配布・郵送回収

### 5 調査票配布・回収状況

配布数：48件 回収数：36件 有効回答件数：34件

### 6 調査結果利用上の注意

- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・2つ以上の回答を可とする設問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。
- ・数表及び図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合がある。
- ・集計表においては、該当区分の数値が全体値と比較して10ポイント以上高い場合を赤、低い場合を青の網掛けで示している。

## 第2章 調査結果概要

### 1 提供サービス種別

- ・「通所系サービス」が 29.4%、「施設・居住系サービス」「訪問系サービス」がそれぞれ 23.5%、「居宅介護支援」が 20.6%。

### 2 介護職員等の総数

- ・回答事業所（34 事業所）合計の正規職員数は 161 人（1 事業所あたり 4.7 人）、非正規職員数は 116 人（1 事業所あたり 4.1 人）であり、介護職員等に正規職員が占める割合は約 6 割。
- ・提供サービス別では、施設系・居住系サービス事業所の職員数が、正規職員・非正規職員ともに多い。

### 3 介護職員等の内訳

- ・性別は、女性が 77.3% で約 8 割を占める。
- ・平均年齢は 47.1 歳。提供サービス別では、訪問系サービス事業所における平均年齢が 56.6 歳と最も高い。
- ・仕事・職種別では、介護職員が 57.3% で約 6 割を占める。以下、看護職員 12.7%、訪問介護員 9.7%。
- ・資格の取得、研修の修了の状況では、介護福祉士（認定介護福祉士含む）が 46.3% を占める。以下、介護職員初任者研修修了または(旧)ヘルパー 2 級 17.0%、介護支援専門員 9.7%。
- ・現在の施設等での平均勤務年数は 6.4 年。提供サービス別では、居宅介護支援事業所の 9.3 年が最も長く、施設・居住系サービス事業所の 5.3 年が最も短い。

### 4 介護職員等の過不足の状況

- ・全体として不足を感じている割合が 47.1%、適当であると感じている割合が 52.9%。
- ・職種別では、訪問介護員・サービス提供責任者・介護職員・看護職員・介護支援専門員について、不足を感じている割合が 5 割に達している。

### 5 職員の採用・離職の状況

- ・回答事業所合計の過去 1 年間の採用者数は 36 人（1 事業所あたり 1.1 人）、離職者数は 45 人（1 事業所あたり 1.4 人）であり、離職者数が採用者数を上回っている。
- ・1 事業所あたりの採用者数が最も多いのが、通所系サービス事業所の 1.8 人。1 事業所あたりの離職者数が最も多いのが、施設・居住系サービス事業所の 2.3 人。
- ・離職者の仕事・職種別では、介護職員が 57.8% で約 6 割を占める。以下、看護職員 22.2%、訪問介護員 8.9%。
- ・離職者の雇用形態別では、正規職員 51.1%、非正規職員 48.9% であり、現在の雇用状況と比較して、非正規職員の割合が高い。
- ・離職者の性別は、女性が 86.7% で約 9 割を占め、現在の雇用状況と比較して、女性の割合が高い。
- ・離職理由として最も多い理由は、本人の病気・高齢 31.1%。

## 第3章 各設問集計結果

### 1 提供サービス種別

問. 貴施設等の提供するサービス種別（介護予防を含む）について、お伺いします。  
本調査票の送付封筒の宛名ラベルに記載されているサービスについて、ご回答  
ください。（〇は1つ）

「通所系サービス」が29.4%と最も高く、次いで、「施設・居住系サービス」「訪問系サービス」の23.5%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
施設・居住系サービス	8	23.5%						
通所系サービス	10	29.4%						
訪問系サービス	8	23.5%						
居宅介護支援	7	20.6%						
無回答	1	2.9%						
サンプル数	34	100.0%						

	単純集計 全体	提供サービス別				
		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	34 100.0%	8 100.0%	10 100.0%	8 100.0%	7 100.0%	1 100.0%
施設・居住系サービス	8 23.5%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
通所系サービス	10 29.4%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
訪問系サービス	8 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
居宅介護支援	7 20.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%
無回答	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

## 2 介護職員等の人数

### (1) 介護職員等の総数

問. 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員等について、お伺いします。介護職員の総数を、ご記入ください。  
（数値を記入）

※ここでの「介護職員等」は、介護サービスの提供に携わる職員の方（事務職員・調理師等を除く）のうち、賃金の支払いを受けている方を指します。（ボランティアの方は含みません。）また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

#### ※正規職員

「1～4人」が55.9%と最も高く、次いで、「5～9人」の26.5%、「10人以上」の14.7%の順となっている。

1事業所あたりの正規職員数は4.7人、34事業所合計の正規職員数は161人となっている。

選択肢	回答数	割合	提供サービス別					
			施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
0人	1	2.9%						
1～4人	19	55.9%						
5～9人	9	26.5%						
10人以上	5	14.7%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	34	100.0%						
			提供サービス別					
			施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	34	100.0%	8	10	8	7	1	
0人	1	2.9%	0	1	0	0	0	
1～4人	19	55.9%	1	4	7	7	0	
5～9人	9	26.5%	3	5	1	0	0	
10人以上	5	14.7%	4	0	0	0	1	
無回答	0	0.0%	0	0	0	0	0	
正規職員数（合計）	161		81	39	21	9	11	
正規職員数（事業所平均）	4.7		10.1	3.9	2.6	1.3	11.0	

※非正規職員

「1～4人」が29.4%と最も高く、次いで、「5～9人」の26.5%、「0人」の20.6%の順となっている。

1事業所あたりの非正規職員数は4.1人、34事業所合計の非正規職員数は116人となっている。

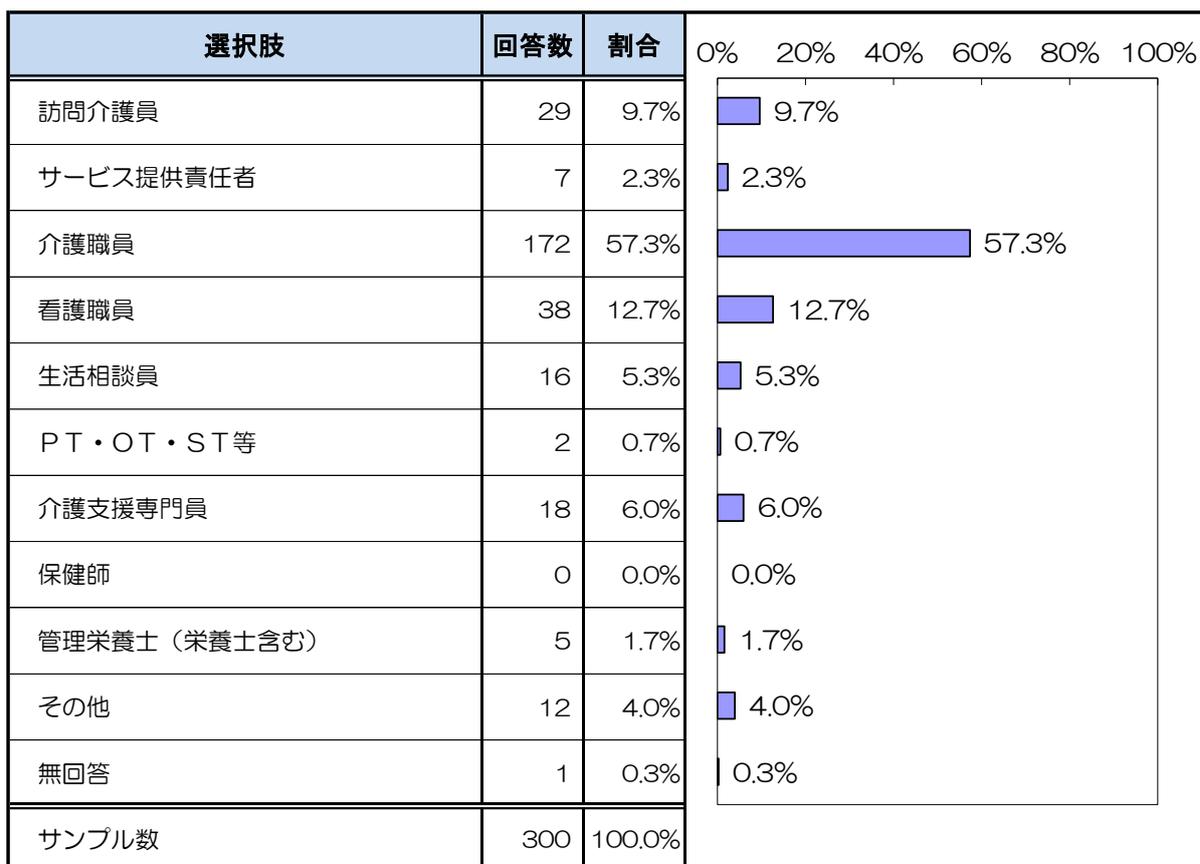
選択肢	回答数	割合	提供サービス別					
			施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
0人	7	20.6%						
1～4人	10	29.4%						
5～9人	9	26.5%						
10人以上	2	5.9%						
無回答	6	17.6%						
サンプル数	34	100.0%						
			単純集計	提供サービス別				
			全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	34	100.0%	8	10	8	7	1	
0人	7	20.6%	0	2	3	2	0	
1～4人	10	29.4%	1	4	2	3	0	
5～9人	9	26.5%	3	2	3	0	1	
10人以上	2	5.9%	2	0	0	0	0	
無回答	6	17.6%	2	2	0	2	0	
非正規職員数（合計）	116		58	27	22	3	6	
非正規職員数（事業所平均）	4.1		9.7	3.4	2.8	0.6	6.0	

(2) 介護職員等の内訳

問. 貴施設等に所属している介護職員等全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

①主に従事する仕事・職種

「介護職員」が 57.3%と最も高く、次いで、「看護職員」の 12.7%、「訪問介護員」の 9.7%の順となっている。



	単純集計 全体	提供サービス別				
		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	300 100.0%	164 100.0%	60 100.0%	43 100.0%	11 100.0%	22 100.0%
訪問介護員	29 9.7%	0 0.0%	0 0.0%	29 67.4%	0 0.0%	0 0.0%
サービス提供責任者	7 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	7 16.3%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員	172 57.3%	124 75.6%	28 46.7%	4 9.3%	0 0.0%	16 72.7%
看護職員	38 12.7%	14 8.5%	20 33.3%	1 2.3%	0 0.0%	3 13.6%
生活相談員	16 5.3%	7 4.3%	8 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%
PT・OT・ST等	2 0.7%	0 0.0%	1 1.7%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%
介護支援専門員	18 6.0%	6 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%	1 4.5%
保健師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
管理栄養士（栄養士含む）	5 1.7%	4 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%
その他	12 4.0%	8 4.9%	3 5.0%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 0.3%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

②資格の取得、研修の修了の状況

「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」が46.3%と最も高く、次いで、「上記のいずれも該当しない」の18.3%、「介護職員初任者研修修了または(旧)ヘルパー2級」の17.0%の順となっている。

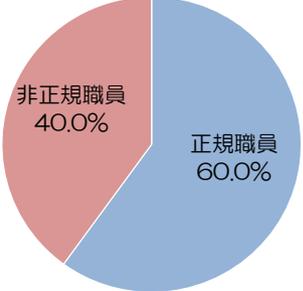
選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%
介護福祉士（認定介護福祉士含む）	139	46.3%	46.3%
介護職員実務者研修修了または(旧)介護職員基礎研修修了または(旧)ヘルパー1級	21	7.0%	7.0%
介護職員初任者研修修了または(旧)ヘルパー2級	51	17.0%	17.0%
介護支援専門員	29	9.7%	9.7%
保健師	1	0.3%	0.3%
看護師	24	8.0%	8.0%
准看護師	25	8.3%	8.3%
管理栄養士	5	1.7%	1.7%
栄養士	0	0.0%	0.0%
理学療法士（PT）	0	0.0%	0.0%
作業療法士（OT）	2	0.7%	0.7%
言語聴覚士（ST）	0	0.0%	0.0%
社会福祉士	3	1.0%	1.0%
精神保健福祉士	0	0.0%	0.0%
社会福祉主事任用資格	13	4.3%	4.3%
認知症ケア士	0	0.0%	0.0%
認知症介護指導者研修の修了者	1	0.3%	0.3%
認知症介護職リーダー研修修了者	1	0.3%	0.3%
上記のいずれも該当しない	55	18.3%	18.3%
無回答	0	0.0%	0.0%
サンプル数	300		

	単純集計 全体	提供サービス別				
		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	300 100.0%	164 100.0%	60 100.0%	43 100.0%	11 100.0%	22 100.0%
介護福祉士（認定介護福祉士含む）	139 46.3%	81 49.4%	24 40.0%	12 27.9%	8 72.7%	14 63.6%
介護職員実務者研修修了または(旧)介護職員基礎研修修了または(旧)ヘルパー1級	21 7.0%	6 3.7%	6 10.0%	7 16.3%	0 0.0%	2 9.1%
介護職員初任者研修修了または(旧)ヘルパー2級	51 17.0%	13 7.9%	11 18.3%	23 53.5%	2 18.2%	2 9.1%
介護支援専門員	29 9.7%	11 6.7%	4 6.7%	1 2.3%	10 90.9%	3 13.6%
保健師	1 0.3%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護師	24 8.0%	11 6.7%	8 13.3%	1 2.3%	2 18.2%	2 9.1%
准看護師	25 8.3%	6 3.7%	11 18.3%	3 7.0%	1 9.1%	4 18.2%
管理栄養士	5 1.7%	4 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%
栄養士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
理学療法士（PT）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
作業療法士（OT）	2 0.7%	0 0.0%	1 1.7%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%
言語聴覚士（ST）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉士	3 1.0%	1 0.6%	1 1.7%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
精神保健福祉士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
社会福祉主事任用資格	13 4.3%	4 2.4%	3 5.0%	2 4.7%	1 9.1%	3 13.6%
認知症ケア士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
認知症介護指導者研修の修了者	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
認知症介護職リーダー研修修了者	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
上記のいずれも該当しない	55 18.3%	45 27.4%	8 13.3%	1 2.3%	0 0.0%	1 4.5%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

③雇用形態

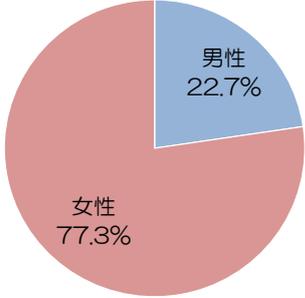
「正規職員」が60.0%、「非正規職員」が40.0%となっている。

提供サービス別では、居宅介護支援事業所では「正規職員」の割合が高い一方、訪問系サービスでは「非正規職員」の割合が高くなっている。

選択肢	回答数	割合						
正規職員	180	60.0%						
非正規職員	120	40.0%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	300	100.0%						
	単純集計		提供サービス別					
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	300		164	60	43	11	22	
	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
正規職員	180		102	33	21	8	16	
	60.0%		62.2%	55.0%	48.8%	72.7%	72.7%	
非正規職員	120		62	27	22	3	6	
	40.0%		37.8%	45.0%	51.2%	27.3%	27.3%	
無回答	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

④性別

「男性」が22.7%、「女性」が77.3%となっている。  
 提供サービス別では、通所系サービス事業所及び訪問系サービス事業所における「女性」の比率が特に高く、9割以上を占めている。

選択肢	回答数	割合						
男性	68	22.7%						
女性	232	77.3%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	300	100.0%						
	単純集計		提供サービス別					
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	300		164	60	43	11	22	
	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
男性	68		51	5	3	3	6	
	22.7%		31.1%	8.3%	7.0%	27.3%	27.3%	
女性	232		113	55	40	8	16	
	77.3%		68.9%	91.7%	93.0%	72.7%	72.7%	
無回答	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

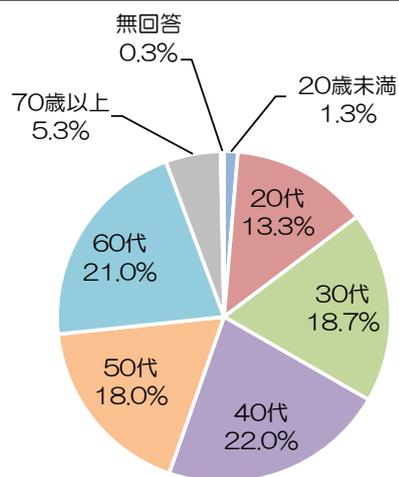
⑤年齢

「40代」が22.0%と最も高く、次いで、「60代」の21.0%、「30代」の18.7%の順となっている。

回答事業所の介護職員等300人の平均年齢は、47.1歳となっている。

提供サービス別では、訪問系サービス事業所において、60代以上で過半数を占めており、平均年齢が他のサービス事業所と比較して高くなっている。

選択肢	回答数	割合	提供サービス別					
			施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
20歳未満	4	1.3%						
20代	40	13.3%						
30代	56	18.7%						
40代	66	22.0%						
50代	54	18.0%						
60代	63	21.0%						
70歳以上	16	5.3%						
無回答	1	0.3%						
サンプル数	300	100.0%						
			全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	300	100.0%	164	60	43	11	22	
20歳未満	4	1.3%	4	0	0	0	0	
20代	40	13.3%	27	5	1	0	7	
30代	56	18.7%	30	14	5	3	4	
40代	66	22.0%	40	14	7	1	4	
50代	54	18.0%	27	10	7	5	5	
60代	63	21.0%	30	15	14	2	2	
70歳以上	16	5.3%	6	1	9	0	0	
無回答	1	0.3%	0	1	0	0	0	
平均年齢	47.1		45.1	47.6	56.6	50.3	40.0	



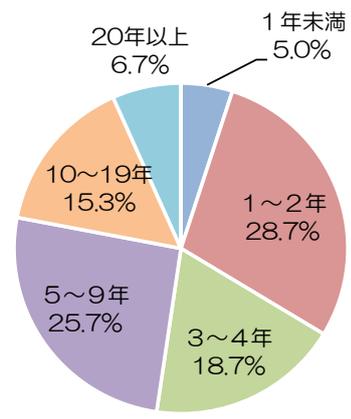
⑥現在の施設等での勤務年数

「1～2年」が28.7%と最も高く、次いで、「5～9年」の25.7%、「3～4年」の18.7%の順となっている。

回答事業所の介護職員等300人の平均勤務年数は、6.4年となっている。

提供サービス別では、居宅介護支援事業所の平均勤務年数9.3年が最も長く、施設・居住系サービス事業所の平均勤務年数5.3年が最も短くなっている。

選択肢	回答数	割合	提供サービス別					
			施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
1年未満	15	5.0%	4	6	3	1	1	
1～2年	86	28.7%	57	14	7	1	7	
3～4年	56	18.7%	28	12	9	3	4	
5～9年	77	25.7%	52	11	7	2	5	
10～19年	46	15.3%	20	7	14	1	4	
20年以上	20	6.7%	3	10	3	3	1	
無回答	0	0.0%	0	0	0	0	0	
サンプル数	300	100.0%	164	60	43	11	22	
平均勤務年数	6.4		5.3	7.6	8.2	9.3	5.8	



⑦現在の施設等に勤務する直前の職場

「介護以外の職場」が40.7%と最も高く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」の29.3%、「現在の職場が初めての勤務先」の15.3%の順となっている。

選択肢	回答数	割合
現在の職場が初めての勤務先	46	15.3%
介護以外の職場	122	40.7%
特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設	88	29.3%
訪問介護・入浴、夜間対応型	15	5.0%
小多機、看多機、定期巡回サービス	0	0.0%
通所介護、通所リハ、認知症デイ	8	2.7%
住宅型有料、サ高住（特定施設以外）	8	2.7%
その他の介護サービス	13	4.3%
無回答	0	0.0%
サンプル数	300	100.0%

	単純集計	提供サービス別				
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	300 100.0%	164 100.0%	60 100.0%	43 100.0%	11 100.0%	22 100.0%
現在の職場が初めての勤務先	46 15.3%	23 14.0%	3 5.0%	12 27.9%	0 0.0%	8 36.4%
介護以外の職場	122 40.7%	61 37.2%	36 60.0%	13 30.2%	2 18.2%	10 45.5%
特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設	88 29.3%	68 41.5%	13 21.7%	4 9.3%	2 18.2%	1 4.5%
訪問介護・入浴、夜間対応型	15 5.0%	4 2.4%	0 0.0%	10 23.3%	1 9.1%	0 0.0%
小多機、看多機、定期巡回サービス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
通所介護、通所リハ、認知症デイ	8 2.7%	5 3.0%	2 3.3%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%
住宅型有料、サ高住（特定施設以外）	8 2.7%	0 0.0%	6 10.0%	1 2.3%	0 0.0%	1 4.5%
その他の介護サービス	13 4.3%	3 1.8%	0 0.0%	2 4.7%	6 54.5%	2 9.1%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

⑧直前の職場について

※職場の場所

「串間市内」が86.4%、「串間市外」が13.6%となっている。

選択肢	回答数	割合	提供サービス別					
串間市内	114	86.4%						
串間市外	18	13.6%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	132	100.0%						
	単純集計	提供サービス別						
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	在宅介護支援	無回答		
サンプル数	132 100.0%	80 100.0%	21 100.0%	18 100.0%	9 100.0%	4 100.0%		
串間市内	114 86.4%	76 95.0%	13 61.9%	15 83.3%	7 77.8%	3 75.0%		
串間市外	18 13.6%	4 5.0%	8 38.1%	3 16.7%	2 22.2%	1 25.0%		
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

※法人・グループ

「現在の施設等と、同一の法人・グループ」が 65.2%、「現在の施設等と、別の法人・グループ」が 34.1%となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
			現在の施設等と、同一の法人・グループ	86	65.2%	65.2%		
現在の施設等と、別の法人・グループ	45	34.1%	34.1%					
無回答	1	0.8%	0.8%					
サンプル数	132	100.0%						

	単純集計	提供サービス別				
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	132 100.0%	80 100.0%	21 100.0%	18 100.0%	9 100.0%	4 100.0%
現在の施設等と、同一の法人・グループ	86 65.2%	64 80.0%	11 52.4%	6 33.3%	4 44.4%	1 25.0%
現在の施設等と、別の法人・グループ	45 34.1%	15 18.8%	10 47.6%	12 66.7%	5 55.6%	3 75.0%
無回答	1 0.8%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 介護職員等の過不足の状況

問. 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）における介護職員の過不足等の状況について、お答えください。

※ 回答については、資格保有者ではなく、その仕事（職種）に就く職員の状況について、ご回答ください。

①訪問介護員

※職員の過不足の状況

「大いに不足」「不足」「やや不足」を合わせた割合が60.0%、「適当」が40.0%となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
大いに不足	1	20.0%	20.0%					
不足	1	20.0%	20.0%					
やや不足	1	20.0%	20.0%					
適当	2	40.0%	40.0%					
過剰	0	0.0%	0.0%					
無回答	0	0.0%	0.0%					
サンプル数	5	100.0%						
	単純集計		提供サービス別					
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	5		0	0	5	0	0	
	100.0%		-	-	100.0%	-	-	
大いに不足	1	20.0%	0	0	1	0	0	
			-	-	20.0%	-	-	
不足	1	20.0%	0	0	1	0	0	
			-	-	20.0%	-	-	
やや不足	1	20.0%	0	0	1	0	0	
			-	-	20.0%	-	-	
適当	2	40.0%	0	0	2	0	0	
			-	-	40.0%	-	-	
過剰	0	0.0%	0	0	0	0	0	
			-	-	0.0%	-	-	
無回答	0	0.0%	0	0	0	0	0	
			-	-	0.0%	-	-	

※不足している理由

「他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である」が66.7%と最も高く、次いで、「上記以外の理由で採用が困難である」の33.3%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	2	66.7%						
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	0	0.0%						
上記以外の理由で採用が困難である	1	33.3%						
定着率が低い（離職率が高い）	0	0.0%						
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0	0.0%						
その他	0	0.0%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	3							
	単純集計		提供サービス別					
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	3		0	0	3	0	0	
	100.0%		-	-	100.0%	-	-	
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	2		0	0	2	0	0	
	66.7%		-	-	66.7%	-	-	
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		-	-	0.0%	-	-	
上記以外の理由で採用が困難である	1		0	0	1	0	0	
	33.3%		-	-	33.3%	-	-	
定着率が低い（離職率が高い）	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		-	-	0.0%	-	-	
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		-	-	0.0%	-	-	
その他	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		-	-	0.0%	-	-	
無回答	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		-	-	0.0%	-	-	

※職員の求人募集の有無

「行っている」が66.7%、「行っていない」が33.3%となっている。

選択肢	回答数	割合						
行っている	2	66.7%						
行っていない	1	33.3%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	3	100.0%						
	単純集計	提供サービス別						
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答		
サンプル数	3 100.0%	0 -	0 -	3 100.0%	0 -	0 -		
行っている	2 66.7%	0 -	0 -	2 66.7%	0 -	0 -		
行っていない	1 33.3%	0 -	0 -	1 33.3%	0 -	0 -		
無回答	0 0.0%	0 -	0 -	0 0.0%	0 -	0 -		

②サービス提供責任者

※職員の過不足の状況

「大いに不足」「不足」「やや不足」を合わせた割合が75.0%、「適当」が25.0%となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
大いに不足	1	25.0%	25.0%					
不足	1	25.0%	25.0%					
やや不足	1	25.0%	25.0%					
適当	1	25.0%	25.0%					
過剰	0	0.0%	0.0%					
無回答	0	0.0%	0.0%					
サンプル数	4	100.0%						
	単純集計		提供サービス別					
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	4		0	0	4	0	0	
	100.0%		-	-	100.0%	-	-	
大いに不足	1		0	0	1	0	0	
	25.0%		-	-	25.0%	-	-	
不足	1		0	0	1	0	0	
	25.0%		-	-	25.0%	-	-	
やや不足	1		0	0	1	0	0	
	25.0%		-	-	25.0%	-	-	
適当	1		0	0	1	0	0	
	25.0%		-	-	25.0%	-	-	
過剰	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		-	-	0.0%	-	-	
無回答	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		-	-	0.0%	-	-	

※不足している理由

「他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である」が66.7%と最も高く、次いで、「上記以外の理由で採用が困難である」の33.3%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	2	66.7%						
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	0	0.0%						
上記以外の理由で採用が困難である	1	33.3%						
定着率が低い（離職率が高い）	0	0.0%						
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0	0.0%						
その他	0	0.0%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	3							
	単純集計		提供サービス別					
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	3	100.0%	0	0	3	0	0	
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	2	66.7%	0	0	2	0	0	
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	0	0.0%	0	0	0	0	0	
上記以外の理由で採用が困難である	1	33.3%	0	0	1	0	0	
定着率が低い（離職率が高い）	0	0.0%	0	0	0	0	0	
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0	0.0%	0	0	0	0	0	
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0	
無回答	0	0.0%	0	0	0	0	0	

※職員の求人募集の有無

「行っている」が66.7%、「行っていない」が33.3%となっている。

選択肢	回答数	割合	提供サービス別					
行っている	2	66.7%						
行っていない	1	33.3%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	3	100.0%						
	単純集計	提供サービス別						
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答		
サンプル数	3 100.0%	0 -	0 -	3 100.0%	0 -	0 -		
行っている	2 66.7%	0 -	0 -	2 66.7%	0 -	0 -		
行っていない	1 33.3%	0 -	0 -	1 33.3%	0 -	0 -		
無回答	0 0.0%	0 -	0 -	0 0.0%	0 -	0 -		

③介護職員

※職員の過不足の状況

「大いに不足」「不足」「やや不足」を合わせた割合が75.0%、「適当」が25.0%となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%				
			5.0%	30.0%	40.0%	25.0%	0.0%
大いに不足	1	5.0%	5.0%				
不足	6	30.0%		30.0%			
やや不足	8	40.0%			40.0%		
適当	5	25.0%				25.0%	
過剰	0	0.0%					0.0%
無回答	0	0.0%					0.0%
サンプル数	20	100.0%					

	単純集計	提供サービス別				
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	20 100.0%	8 100.0%	10 100.0%	1 100.0%	0 -	1 100.0%
大いに不足	1 5.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 -	0 0.0%
不足	6 30.0%	3 37.5%	2 20.0%	1 100.0%	0 -	0 0.0%
やや不足	8 40.0%	4 50.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 -	1 100.0%
適当	5 25.0%	1 12.5%	4 40.0%	0 0.0%	0 -	0 0.0%
過剰	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 -	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 -	0 0.0%

※不足している理由

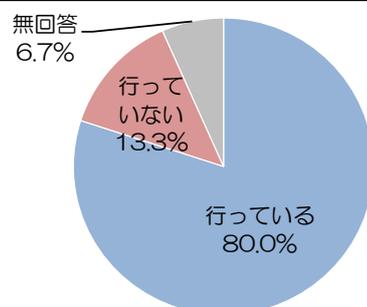
「同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である」が46.7%と最も高く、次いで、「他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である」の33.3%、「定着率が低い（離職率が高い）」の26.7%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	5	33.3%	33.3%					
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	7	46.7%	46.7%					
上記以外の理由で採用が困難である	2	13.3%	13.3%					
定着率が低い（離職率が高い）	4	26.7%	26.7%					
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0	0.0%	0.0%					
その他	3	20.0%	20.0%					
無回答	0	0.0%	0.0%					
サンプル数	15							
	単純集計		提供サービス別					
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	15		7	6	1	0	1	
	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	5		2	2	1	0	0	
	33.3%		28.6%	33.3%	100.0%	-	0.0%	
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	7		4	2	1	0	0	
	46.7%		57.1%	33.3%	100.0%	-	0.0%	
上記以外の理由で採用が困難である	2		1	1	0	0	0	
	13.3%		14.3%	16.7%	0.0%	-	0.0%	
定着率が低い（離職率が高い）	4		2	2	0	0	0	
	26.7%		28.6%	33.3%	0.0%	-	0.0%	
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	
その他	3		2	0	0	0	1	
	20.0%		28.6%	0.0%	0.0%	-	100.0%	
無回答	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	

※職員の求人募集の有無

「行っている」が80.0%、「行っていない」が13.3%となっている。

選択肢	回答数	割合	提供サービス別					
			施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
行っている	12	80.0%						
行っていない	2	13.3%						
無回答	1	6.7%						
サンプル数	15	100.0%						
			提供サービス別					
			施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	15		7	6	1	0	1	
	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	
行っている	12		5	6	0	0	1	
	80.0%		71.4%	100.0%	0.0%	-	100.0%	
行っていない	2		1	0	1	0	0	
	13.3%		14.3%	0.0%	100.0%	-	0.0%	
無回答	1		1	0	0	0	0	
	6.7%		14.3%	0.0%	0.0%	-	0.0%	



④看護職員

※職員の過不足の状況

「不足」「やや不足」を合わせた割合が53.3%、「適当」が46.7%となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
大いに不足	0	0.0%						
不足	2	13.3%						
やや不足	6	40.0%						
適当	7	46.7%						
過剰	0	0.0%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	15	100.0%						
	単純集計		提供サービス別					
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	15		5	8	1	0	1	
	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	
大いに不足	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	
不足	2		1	0	1	0	0	
	13.3%		20.0%	0.0%	100.0%	-	0.0%	
やや不足	6		1	5	0	0	0	
	40.0%		20.0%	62.5%	0.0%	-	0.0%	
適当	7		3	3	0	0	1	
	46.7%		60.0%	37.5%	0.0%	-	100.0%	
過剰	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	
無回答	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	

※不足している理由

「同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である」が75.0%と最も高く、次いで、「他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である」の50.0%、「定着率が低い（離職率が高い）」の25.0%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	4	50.0%						
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	6	75.0%						
上記以外の理由で採用が困難である	0	0.0%						
定着率が低い（離職率が高い）	2	25.0%						
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0	0.0%						
その他	0	0.0%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	8							
	単純集計		提供サービス別					
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	8		2	5	1	0	0	
	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	-	-	
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	4		1	2	1	0	0	
	50.0%		50.0%	40.0%	100.0%	-	-	
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	6		1	4	1	0	0	
	75.0%		50.0%	80.0%	100.0%	-	-	
上記以外の理由で採用が困難である	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	-	-	
定着率が低い（離職率が高い）	2		1	1	0	0	0	
	25.0%		50.0%	20.0%	0.0%	-	-	
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	-	-	
その他	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	-	-	
無回答	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	-	-	

※職員の求人募集の有無

「行っている」が75.0%、「行っていない」が12.5%となっている。

選択肢	回答数	割合	提供サービス別					
行っている	6	75.0%						
行っていない	1	12.5%						
無回答	1	12.5%						
サンプル数	8	100.0%						
	単純集計	提供サービス別						
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答		
サンプル数	8	2	5	1	0	0		
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-		
行っている	6	1	5	0	0	0		
	75.0%	50.0%	100.0%	0.0%	-	-		
行っていない	1	0	0	1	0	0		
	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%	-	-		
無回答	1	1	0	0	0	0		
	12.5%	50.0%	0.0%	0.0%	-	-		

⑤生活相談員

※職員の過不足の状況

「不足」が11.1%、「適当」が88.9%となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
			大いに不足	0	0.0%	0.0%		
不足	1	11.1%	11.1%					
やや不足	0	0.0%	0.0%					
適当	8	88.9%	88.9%					
過剰	0	0.0%	0.0%					
無回答	0	0.0%	0.0%					
サンプル数	9	100.0%						

	単純集計	提供サービス別				
		全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援
サンプル数	9	4	4	0	0	1
	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	100.0%
大いに不足	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	0.0%
不足	1	1	0	0	0	0
	11.1%	25.0%	0.0%	-	-	0.0%
やや不足	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	0.0%
適当	8	3	4	0	0	1
	88.9%	75.0%	100.0%	-	-	100.0%
過剰	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	0.0%

※不足している理由

「上記以外の理由で採用が困難である」のみに回答が得られた。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	0	0.0%	0.0%					
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	0	0.0%	0.0%					
上記以外の理由で採用が困難である	1	100.0%	100.0%					
定着率が低い（離職率が高い）	0	0.0%	0.0%					
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0	0.0%	0.0%					
その他	0	0.0%	0.0%					
無回答	0	0.0%	0.0%					
サンプル数	1							

	単純集計		提供サービス別				
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	1	100.0%	1	0	0	0	0
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	0	0.0%	0	0	0	0	0
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	0	0.0%	0	0	0	0	0
上記以外の理由で採用が困難である	1	100.0%	1	0	0	0	0
定着率が低い（離職率が高い）	0	0.0%	0	0	0	0	0
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0	0.0%	0	0	0	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0	0

※職員の求人募集の有無

回答が得られなかった。

⑥PT・OT・ST等

※職員の過不足の状況

「適当」のみに回答が得られた。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
大いに不足	0	0.0%	0.0%					
不足	0	0.0%	0.0%					
やや不足	0	0.0%	0.0%					
適当	4	100.0%						100.0%
過剰	0	0.0%	0.0%					
無回答	0	0.0%	0.0%					
サンプル数	4	100.0%						

	単純集計	提供サービス別				
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	4 100.0%	1 100.0%	2 100.0%	1 100.0%	0 -	0 -
大いに不足	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 -	0 -
不足	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 -	0 -
やや不足	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 -	0 -
適当	4 100.0%	1 100.0%	2 100.0%	1 100.0%	0 -	0 -
過剰	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 -	0 -
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 -	0 -

⑦介護支援専門員

※職員の過不足の状況

「不足」「やや不足」を合わせた割合が50.0%、「適当」が50.0%となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
大いに不足	0	0.0%						
不足	3	25.0%						
やや不足	3	25.0%						
適当	6	50.0%						
過剰	0	0.0%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	12	100.0%						
	単純集計		提供サービス別					
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	12		4	0	0	7	1	
	100.0%		100.0%	-	-	100.0%	100.0%	
大いに不足	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	-	-	0.0%	0.0%	
不足	3		0	0	0	3	0	
	25.0%		0.0%	-	-	42.9%	0.0%	
やや不足	3		0	0	0	3	0	
	25.0%		0.0%	-	-	42.9%	0.0%	
適当	6		4	0	0	1	1	
	50.0%		100.0%	-	-	14.3%	100.0%	
過剰	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	-	-	0.0%	0.0%	
無回答	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	-	-	0.0%	0.0%	

※不足している理由

「同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である」が50.0%と最も高く、次いで、「上記以外の理由で採用が困難である」の33.3%、「利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため」の16.7%の順となっている。

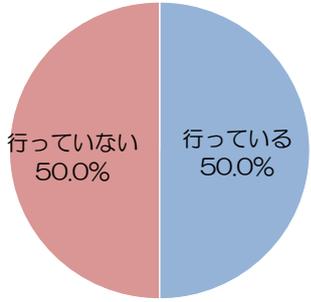
選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	0	0.0%	0.0%					
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	3	50.0%	50.0%					
上記以外の理由で採用が困難である	2	33.3%	33.3%					
定着率が低い（離職率が高い）	0	0.0%	0.0%					
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	1	16.7%	16.7%					
その他	0	0.0%	0.0%					
無回答	0	0.0%	0.0%					
サンプル数	6							

	単純集計	提供サービス別				
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	6 100.0%	0	0	0	6	0
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	0 0.0%	0	0	0	0	0
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	3 50.0%	0	0	0	3	0
上記以外の理由で採用が困難である	2 33.3%	0	0	0	2	0
定着率が低い（離職率が高い）	0 0.0%	0	0	0	0	0
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	1 16.7%	0	0	0	1	0
その他	0 0.0%	0	0	0	0	0
無回答	0 0.0%	0	0	0	0	0

※職員の求人募集の有無

「行っている」が50.0%、「行っていない」が50.0%となっている。

選択肢	回答数	割合						
行っている	3	50.0%						
行っていない	3	50.0%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	6	100.0%						
	単純集計		提供サービス別					
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	6		0	0	0	6	0	
	100.0%		-	-	-	100.0%	-	
行っている	3		0	0	0	3	0	
	50.0%		-	-	-	50.0%	-	
行っていない	3		0	0	0	3	0	
	50.0%		-	-	-	50.0%	-	
無回答	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		-	-	-	0.0%	-	

⑧保健師

※職員の過不足の状況

回答した事業所がなかった。

⑨管理栄養士（栄養士含む）

※職員の過不足の状況

「不足」が25.0%、「適当」が75.0%となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
			大いに不足	0	0.0%	0.0%		
不足	1	25.0%	25.0%					
やや不足	0	0.0%	0.0%					
適当	3	75.0%	75.0%					
過剰	0	0.0%	0.0%					
無回答	0	0.0%	0.0%					
サンプル数	4	100.0%						

	単純集計	提供サービス別				
		全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援
サンプル数	4	3	0	0	0	1
	100.0%	100.0%	-	-	-	100.0%
大いに不足	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	-	-	-	0.0%
不足	1	1	0	0	0	0
	25.0%	33.3%	-	-	-	0.0%
やや不足	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	-	-	-	0.0%
適当	3	2	0	0	0	1
	75.0%	66.7%	-	-	-	100.0%
過剰	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	-	-	-	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	-	-	-	0.0%

※不足している理由

「上記以外の理由で採用が困難である」のみに回答が得られた。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	0	0.0%	0.0%					
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	0	0.0%	0.0%					
上記以外の理由で採用が困難である	1	100.0%	100.0%					
定着率が低い（離職率が高い）	0	0.0%	0.0%					
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0	0.0%	0.0%					
その他	0	0.0%	0.0%					
無回答	0	0.0%	0.0%					
サンプル数	1							

	単純集計		提供サービス別				
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	1	1	1	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
上記以外の理由で採用が困難である	1	1	1	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-
定着率が低い（離職率が高い）	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
その他	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-
無回答	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-

※職員の求人募集の有無

回答が得られなかった。

⑩介護職員等全体

※職員の過不足の状況

「不足」「やや不足」を合わせた割合が47.1%、「適当」が52.9%となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
大いに不足	0	0.0%						
不足	4	23.5%	23.5%					
やや不足	4	23.5%	23.5%					
適当	9	52.9%	52.9%					
過剰	0	0.0%	0.0%					
無回答	0	0.0%	0.0%					
サンプル数	17	100.0%						
	単純集計		提供サービス別					
	全体		施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	17		6	6	2	2	1	
	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
大いに不足	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
不足	4		2	2	0	0	0	
	23.5%		33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
やや不足	4		2	1	0	1	0	
	23.5%		33.3%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	
適当	9		2	3	2	1	1	
	52.9%		33.3%	50.0%	100.0%	50.0%	100.0%	
過剰	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	0		0	0	0	0	0	
	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

※不足している理由

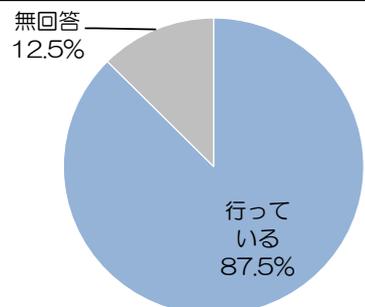
「同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である」が62.5%と最も高く、次いで、「定着率が低い（離職率が高い）」の37.5%、「上記以外の理由で採用が困難である」の25.0%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%					
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	1	12.5%						
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	5	62.5%						
上記以外の理由で採用が困難である	2	25.0%						
定着率が低い（離職率が高い）	3	37.5%						
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0	0.0%						
その他	0	0.0%						
無回答	0	0.0%						
サンプル数	8							
	単純集計	提供サービス別						
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答		
サンプル数	8	4	3	0	1	0		
	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	-		
他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である	1	0	1	0	0	0		
	12.5%	0.0%	33.3%	-	0.0%	-		
同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である	5	3	1	0	1	0		
	62.5%	75.0%	33.3%	-	100.0%	-		
上記以外の理由で採用が困難である	2	1	1	0	0	0		
	25.0%	25.0%	33.3%	-	0.0%	-		
定着率が低い（離職率が高い）	3	2	1	0	0	0		
	37.5%	50.0%	33.3%	-	0.0%	-		
利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため	0	0	0	0	0	0		
	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	-		
その他	0	0	0	0	0	0		
	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	-		
無回答	0	0	0	0	0	0		
	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	-		

※職員の求人募集の有無

「行っている」のみに回答が得られた。

選択肢	回答数	割合	提供サービス別					
			施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
行っている	7	87.5%						
行っていない	0	0.0%						
無回答	1	12.5%						
サンプル数	8	100.0%						
			単純集計					
			全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	8	100.0%	4	3	0	1	0	
行っている	7	87.5%	3	3	0	1	0	
行っていない	0	0.0%	0	0	0	0	0	
無回答	1	12.5%	1	0	0	0	0	



### 3 採用者・離職者

#### (1) 採用者・離職者数

問. 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員等について、お伺いします。過去1年間（令和元年10月1日～令和2年10月1日）の介護職員等の採用者数と離職者数をご記入ください。  
（数値を記入）

※ここでの「介護職員等」は、介護サービスの提供に携わる職員の方（事務職員・調理師等を除く）のうち、賃金の支払いを受けている方を指します。（ボランティアの方は含みません。）また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

#### ※採用者数

「0人」が50.0%、「1～4人」が44.1%、「5人以上」が2.9%となっている。  
1事業所あたりの採用者数は1.1人、34事業所合計の採用者数は36人となっている。  
提供サービス別では、通所系サービス事業所の平均採用者数1.8人が最も多く、居宅介護支援事業所の平均採用者数0.1人が最も少なくなっている。

選択肢	回答数	割合	提供サービス別				
			施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
0人	17	50.0%					
1～4人	15	44.1%					
5人以上	1	2.9%					
無回答	1	2.9%					
サンプル数	34	100.0%					

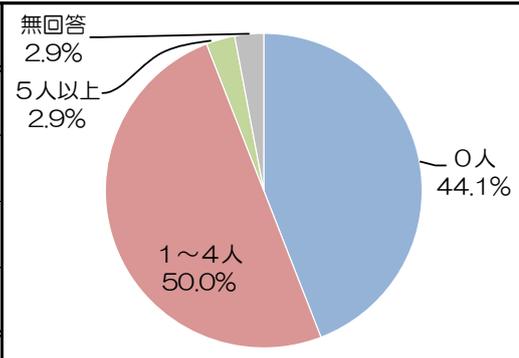
	単純集計	提供サービス別				
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答
サンプル数	34	8	10	8	7	1
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0人	17	3	3	5	6	0
	50.0%	37.5%	30.0%	62.5%	85.7%	0.0%
1～4人	15	4	6	3	1	1
	44.1%	50.0%	60.0%	37.5%	14.3%	100.0%
5人以上	1	0	1	0	0	0
	2.9%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	1	0	0	0	0
	2.9%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
採用者数（合計）	36	8	18	5	1	4
採用者数（事業所平均）	1.1	1.1	1.8	0.6	0.1	4.0

※離職者数

「0人」が44.1%、「1～4人」が50.0%、「5人以上」が2.9%となっている。  
 1事業所あたりの離職者数は1.4人、34事業所合計の離職者数は45人となっている。

提供サービス別では、施設・居住系サービス事業所の平均離職者数2.3人が最も多く、居宅介護支援事業所においては、離職者がいなかった。

選択肢	回答数	割合	提供サービス別					
			施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
0人	15	44.1%						
1～4人	17	50.0%						
5人以上	1	2.9%						
無回答	1	2.9%						
サンプル数	34	100.0%						
			提供サービス別					
			施設・居住系	通所系	訪問系	居宅介護支援	無回答	
サンプル数	34	100.0%	8	10	8	7	1	
0人	15	44.1%	2	1	5	7	0	
1～4人	17	50.0%	5	9	2	0	1	
5人以上	1	2.9%	1	0	0	0	0	
無回答	1	2.9%	0	0	1	0	0	
離職者数(合計)	45		18	18	5	0	4	
離職者数(事業所平均)	1.4		2.3	1.8	0.7	0.0	4.0	

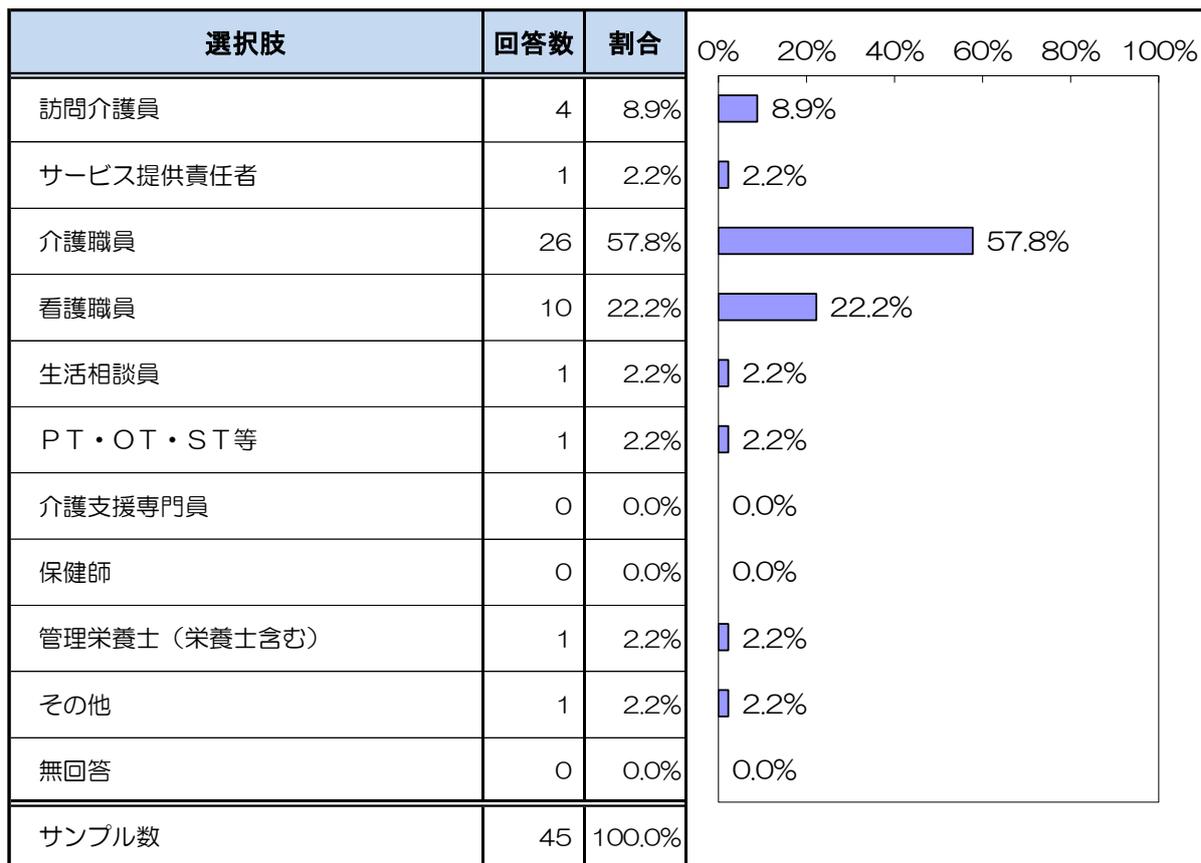


(2) 離職者の内訳

問. 離職者1人ずつについて、お答えください。

※主に従事していた仕事・職種

「介護職員」が57.8%と最も高く、次いで、「看護職員」の22.2%、「訪問介護員」の8.9%の順となっている。

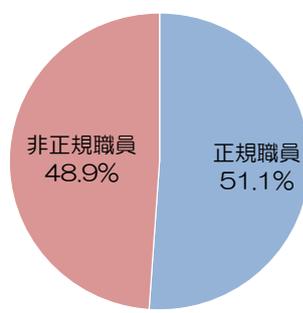


	単純集計	提供サービス別			
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	無回答
サンプル数	45 100.0%	18 100.0%	18 100.0%	5 100.0%	4 100.0%
訪問介護員	4 8.9%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%
サービス提供責任者	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
介護職員	26 57.8%	15 83.3%	7 38.9%	0 0.0%	4 100.0%
看護職員	10 22.2%	1 5.6%	9 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
生活相談員	1 2.2%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%
PT・OT・ST等	1 2.2%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護支援専門員	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
保健師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
管理栄養士（栄養士含む）	1 2.2%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 2.2%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

※雇用形態

「正規職員」が51.1%、「非正規職員」が48.9%となっている。

選択肢	回答数	割合
正規職員	23	51.1%
非正規職員	22	48.9%
無回答	0	0.0%
サンプル数	45	100.0%

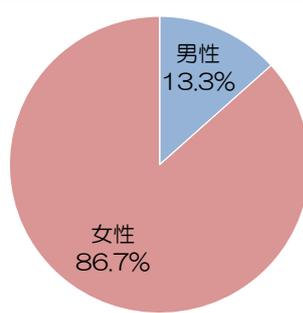


	単純集計	提供サービス別			
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	無回答
サンプル数	45 100.0%	18 100.0%	18 100.0%	5 100.0%	4 100.0%
正規職員	23 51.1%	10 55.6%	8 44.4%	4 80.0%	1 25.0%
非正規職員	22 48.9%	8 44.4%	10 55.6%	1 20.0%	3 75.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

※性別

「男性」が13.3%、「女性」が86.7%となっている。

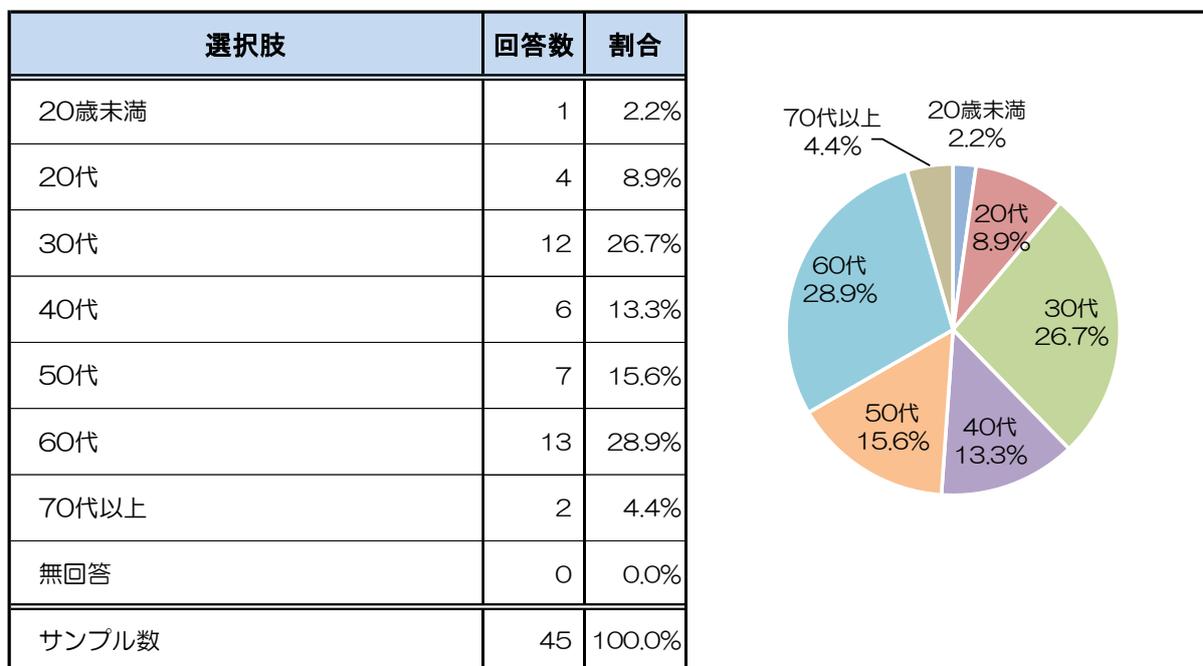
選択肢	回答数	割合
男性	6	13.3%
女性	39	86.7%
無回答	0	0.0%
サンプル数	45	100.0%



	単純集計	提供サービス別			
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	無回答
サンプル数	45 100.0%	18 100.0%	18 100.0%	5 100.0%	4 100.0%
男性	6 13.3%	6 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
女性	39 86.7%	12 66.7%	18 100.0%	5 100.0%	4 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

※年代

「60代」が28.9%と最も高く、次いで、「30代」の26.7%、「50代」の15.6%の順となっている。



	単純集計	提供サービス別			
	全体	施設・居住系	通所系	訪問系	無回答
サンプル数	45 100.0%	18 100.0%	18 100.0%	5 100.0%	4 100.0%
20歳未満	1 2.2%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20代	4 8.9%	3 16.7%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%
30代	12 26.7%	4 22.2%	4 22.2%	2 40.0%	2 50.0%
40代	6 13.3%	5 27.8%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%
50代	7 15.6%	1 5.6%	3 16.7%	2 40.0%	1 25.0%
60代	13 28.9%	4 22.2%	7 38.9%	1 20.0%	1 25.0%
70代以上	2 4.4%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
不明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

※離職理由

「本人が病気・高齢のため」が31.1%と最も高く、次いで、「その他」の22.2%、「就労条件が本人の希望を満たしていなかったため」「家族の介護・看護のため」の11.1%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%
本人が病気・高齢のため	14	31.1%	31.1%
就労条件が本人の希望を満たしていなかったため	5	11.1%	11.1%
家族の介護・看護のため	5	11.1%	11.1%
就労条件等の良い、他の職場（介護事業所を除く）への転職のため	4	8.9%	8.9%
定年・雇用契約の満了のため	4	8.9%	8.9%
家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	2	4.4%	4.4%
就労条件等の良い、他の介護事業所への転職のため	1	2.2%	2.2%
職場内の人間関係がうまくいかなかったため	1	2.2%	2.2%
結婚・妊娠・出産・育児のため	1	2.2%	2.2%
法人・事業所の方針ため	0	0.0%	0.0%
法人や施設・事業所の理念や運営のあり方に不満があったため	0	0.0%	0.0%
その他	10	22.2%	22.2%
不明	2	4.4%	4.4%
無回答	0	0.0%	0.0%
サンプル数	45		

	単純集計 全体	提供サービス別			
		施設・居住系	通所系	訪問系	無回答
サンプル数	45 100.0%	18 100.0%	18 100.0%	5 100.0%	4 100.0%
本人が病気・高齢のため	14 31.1%	5 27.8%	6 33.3%	2 40.0%	1 25.0%
就労条件が本人の希望を満たしていなかったため	5 11.1%	1 5.6%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
家族の介護・看護のため	5 11.1%	2 11.1%	2 11.1%	0 0.0%	1 25.0%
就労条件等の良い、他の職場（介護事業所を除く）への転職のため	4 8.9%	2 11.1%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
定年・雇用契約の満了のため	4 8.9%	1 5.6%	2 11.1%	0 0.0%	1 25.0%
家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	2 4.4%	1 5.6%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
就労条件等の良い、他の介護事業所への転職のため	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
職場内の人間関係がうまくいかなかったため	1 2.2%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%
結婚・妊娠・出産・育児のため	1 2.2%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
法人・事業所の方針ため	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
法人や施設・事業所の理念や運営のあり方に不満があったため	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	10 22.2%	5 27.8%	2 11.1%	2 40.0%	1 25.0%
不明	2 4.4%	1 5.6%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

# 調査票

※ 令和2年10月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 貴施設等の提供するサービス種別（介護予防を含む）について、お伺いします。

※ 本調査票の送付封筒の宛名ラベルに記載されているサービスについて、ご回答ください。（○は1つ）

1. 施設・居住系サービス

（特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設（地域密着型含む）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム）

2. 通所系サービス

（通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））

3. 訪問系サービス

（訪問介護、訪問看護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））

4. 居宅介護支援

（居宅介護支援、介護予防支援）

問2 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員等について、お伺いします。

※ ここでの「介護職員等」は、介護サービスの提供に携わる職員の方（事務職員・調理師を除く）のうち、賃金の支払いを受けている方を指します。（ボランティアの方は含みません。）

※ また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

正規職員	[ ] 人	非正規職員	[ ] 人
------	-------	-------	-------

問2-2 10月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。

過去1年間（令和元年10月1日～令和2年10月1日）の介護職員等の採用者数と離職者数をご記入ください。（数値を記入）

採用者数	[ ] 人	離職者数	[ ] 人
------	-------	------	-------

問2-3 問2-2の離職者1人ずつについて、お答えください。

回答方法	※ 番号を1つ記載				※ 番号を記載（複数可）
	(1) 主に従事していた仕事・職種	(2) 雇用形態	(3) 性別	(4) 年代	(5) 離職理由
選択肢	1. 訪問介護員 2. サービス提供責任者 3. 介護職員 4. 看護職員 5. 生活相談員 6. PT・OT・ST等 7. 介護支援専門員 8. 保健師 9. 管理栄養士（栄養士含む） 10. その他	1. 正規職員（※期限の定めのない契約） 2. 非正規職員（※期限の定めのある契約）	1. 男性 2. 女性	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上 8. 不明	1. 法人・事業所の方針（人員整理・勧奨退職等）のため 2. 就労条件等の良い、他の介護事業所への転職のため 3. 就労条件等の良い、他の職場（介護事業所を除く）への転職のため 4. 就労条件が本人の希望を満たしていなかったため 5. 職場内の人間関係がうまくいかなかったため 6. 法人や施設・事業所の理念や運営のあり方に不満があったため 7. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため 8. 定年・雇用契約の満了のため 9. 本人が病気・高齢のため 10. 結婚・妊娠・出産・育児のため 11. 家族の介護・看護のため 12. その他 13. 不明
記入例	1	1	1	2	2, 5
01					
02					
03					
04					
05					
06					
07					
08					
09					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

問3 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）における介護職員の過不足等の状況について、お答えください。

※ 回答については、資格保有者ではなく、その仕事（職種）に就く職員の状況について、ご回答ください。

回答方法	※ 番号を1つ記載	※ 番号を記載（複数可）	※ 番号を1つ記載
設問	(1)職員の過不足の状況	(2)不足している理由	(3)職員の求人募集を行っているか
選択肢	1. 大いに不足 2. 不足 3. やや不足 ⇒【「1.」～「3.」の場合は(2)へ】 4. 適当 ⇒【回答終了】 5. 過剰 ⇒【回答終了】 6. サービス提供において、必要性を感じていない職種に該当する ⇒【回答終了】	1. 他産業に比べて、労働条件が良くないため、採用が困難である 2. 同業他社との人材獲得競争が激しいため、採用が困難である 3. 上記以外の理由で採用が困難である 4. 定着率が低い（離職率が高い） 5. 利用者数の増大等により、必要な人数が増大したため 6. その他	1. 行っている 2. 行っていない
1. 訪問介護員			
2. サービス提供責任者			
3. 介護職員			
4. 看護職員			
5. 生活相談員			
6. PT・OT・ST等			
7. 介護支援専門員			
8. 保健師			
9. 管理栄養士（栄養士含む）			
全体としてみた場合			

調査票

問4 貴施設等に所属している介護職員等全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

回答方法	※ 番号を1つ記載	※ 番号を記載（複数可）	※ 番号を1つ記載	※ 数値を記入	※ 番号を1つ記載				
設問	(1)主に従事する仕事・職種	(2)資格の取得、研修の修了の状況	(3)雇用形態	(4)性別	(5)年齢	(6)現在の施設等での勤務年数	(7)現在の施設等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む	(8)直前の職場について	
選択肢	1. 訪問介護員 2. サービス提供責任者 3. 介護職員 4. 看護職員 5. 生活相談員 6. PT・OT・ST等 7. 介護支援専門員 8. 保健師 9. 管理栄養士（栄養士含む） 10. その他	1. 介護福祉士（認定介護福祉士含む） 2. 介護職員実務者研修修了または（旧）介護職員基礎研修修了または（旧）ヘルパー1級 3. 介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級 4. 介護支援専門員 5. 保健師 6. 看護師 7. 准看護師 8. 管理栄養士 9. 栄養士 10. 理学療法士（PT） 11. 作業療法士（OT） 12. 言語聴覚士（ST） 13. 社会福祉士 14. 精神保健福祉士 15. 社会福祉主事任用資格 16. 認知症ケア士 17. 認知症介護指導者研修の修了者 18. 認知症介護リーダー研修修了者 19. 上記のいずれも該当しない	1. 正規職員（期限の定めのない契約） 2. 非正規職員（期限の定めのある契約）	1. 男性 2. 女性			1. 現在の職場が初めての勤務先 ⇒【回答終了】 2. 介護以外の職場 ⇒【回答終了】 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型 5. 小多機能、看多機能、定期巡回サービス 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ 7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外） 8. その他の介護サービス ⇒【「3.」～「8.」の場合は（8）へ】	1. 串間市内 2. 串間市外	1. 現在の施設等と同一の法人・グループ 2. 現在の施設等と、別の法人・グループ
記入例	5	13, 14	1	1	39	8	3	2	2
01									
02									
03									
04									
05									
06									
07									
08									
09									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									

※記入欄が足りない場合は、裏面をご利用ください。

回答方法	※ 番号を1つ記載	※ 番号を記載 (複数可)	※ 番号を1つ記載	※ 数値を記入	※ 番号を1つ記載			
設問	(1)主に従事する仕事・職種	(2)資格の取得、研修の修了の状況	(3)雇用形態	(4)性別	(5)年齢	(6)現在の施設等での勤務年数	(7)現在の施設等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む	(8)直前の職場について
選択肢	1. 訪問介護員 2. サービス提供責任者 3. 介護職員 4. 看護職員 5. 生活相談員 6. PT・OT・ST等 7. 介護支援専門員 8. 保健師 9. 管理栄養士 (栄養士含む) 10. その他	1. 介護福祉士 (認定介護福祉士含む) 2. 介護職員実務者研修修了 または (旧)介護職員基礎研修修了 または (旧)ヘルパー1級 3. 介護職員初任者研修修了、 または (旧)ヘルパー2級 4. 介護支援専門員 5. 保健師 6. 看護師 7. 准看護師 8. 管理栄養士 9. 栄養士 10. 理学療法士 (PT) 11. 作業療法士 (OT) 12. 言語聴覚士 (ST) 13. 社会福祉士 14. 精神保健福祉士 15. 社会福祉主事任用資格 16. 認知症ケア士 17. 認知症介護指導者研修の修了者 18. 認知症介護職リーダー研修修了者 19. 上記のいずれも該当しない	1. 正規職員 (期限の定めのない契約) 2. 非正規職員 (期限の定めのある契約)	1. 男性 2. 女性			1. 現在の職場が初めての勤務先 ⇒【回答終了】 2. 介護以外の職場 ⇒【回答終了】 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型 5. 小多機、看多機、定期巡回サービス 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ 7. 住宅型有料、サ高住 (特定施設以外) 8. その他の介護サービス ⇒【「3.」～「8.」の場合は(8)へ】	1. 市内 2. 市外 3. 現在の施設等と、同一の法人・グループ 4. 現在の施設等と、別の法人・グループ
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								
61								
62								
63								
64								
65								
66								
67								
68								
69								
70								
71								
72								
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								



---

---

串間市第8期介護保険事業計画策定に係る  
介護人材実態調査報告書

---

令和2年11月

発行 串間市 医療介護課

〒888-0001 串間市大字西方9365番地8

(串間市総合保健福祉センター内)

TEL 0987-72-0333

FAX 0987-72-0310

---

---